

女性が歯科技工士を続けるために

～女性歯科技工士と共に働くみなさんへ～

近年、若い技工士が減少している中、女性技工士の割合は増加傾向にあります。少し前は「雇いづらい」「育てにくい」と敬遠されてきた女性技工士の労働力も軽視できないものになってきました。本来、歯科技工は女性にとっても向いている仕事だと思います。しかし多くの女性技工士・経営者ともに、「続け方」「雇用の仕方」を模索しているのが現状だと思います。

今回、技工士として18年、子供が生まれてからは8年の私のたどった技工歴を軸に、産休・育休、保育園、職場復帰後の働き方、会社に協力してもらったこと、卒後教育機関、悩みと転職、これからの働き方や思い、などなど多くの若い女性技工士の皆さんが漠然と不安に思っていることや、共に働く会社の同僚・社長に知っておいてほしかったことを、私の経験を通してお話しさせていただきます。

女性に限らず、若い技工士の方や経営者の方にもそれぞれの「続け方」「学び方」「育て方」「雇用の仕方」の道を見つけ出すヒントとなれば幸いです。

藤井未来

補綴処置の手順

今回は、私の稚拙な記録の中からいくつかお披露目させていただきたいと思います。

特に、咬合が崩壊して基準となる指標がないものや、元の状態が解らないようなものの補綴処置の参考にさせていただけたらと思います。

できるだけ、補綴の介入を最小限にして患者様が短い期間で補綴処置を終えることができるように配慮することと、どのように補綴を進めていくのか皆様と一緒に考えたいと思います。

本日の資料をもとに皆様のお考えや補綴方法等もご教示していただけると幸いです。

難しい補綴が増加すると予想されるご時世ですのでこれを機会に、みんなで知恵を出し合っていける場にしたいとおもいます。

笹部 努